

5 選考に当たって考慮する事項

校種・職種等	考慮する事項
全ての校種・職種	(1) 部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること
	(2) 学校図書館司書教諭の資格を所有していること
	(3) 特別支援学校教諭普通免許状を所有していること
	(4) 社会教育主事になりうる資格を所有していること
小学校教諭等	(5) いずれかの教科（英語を除く。）の中学校教諭普通免許状を所有していること
	(6) 中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）を所有していること
	(7) 各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること ※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること。
中学校教諭等	(8) 小学校教諭普通免許状を所有していること
	(9) 複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること
高等学校教諭等	(10) 高等学校教諭普通免許状（情報）を所有していること
中学校教諭等（保健体育）	(11) 剣道4段以上の段位、又は柔道3段以上の段位を所有していること
高等学校教諭等（保健体育）	※ 該当する場合は、必ず電子申請の「特技・資格」欄に入力すること。
高等学校教諭等（数学）	(12) 各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること
高等学校教諭等（理科）	※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること。
特別支援学校教諭等	(13) いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること

※ 教諭普通免許状及び社会教育主事になりうる資格については、令和6年3月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和6年3月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。

9 選考結果の通知

第1次試験の結果通知 8月9日(水)午前9時頃	岡山県教育庁教職員課ホームページ(https://www.pref.okayama.jp/soshiki/145/)に第2次試験の受験資格を得た者の受験番号を掲載するとともに、第1次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。
第2次試験の結果通知 10月6日(金)午前9時頃	岡山県教育庁教職員課ホームページに採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載するとともに、第2次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。

- ※ 第1次試験、第2次試験ともに、選考結果に関する問い合わせには一切応じない。
- ※ 結果は簡易書留で送付するので、返信用封筒には確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入しておくこと。7日間以上不在にする場合は、不在届を郵便局に提出することを推奨する。（様式等は日本郵便のホームページで確認すること。）
- ※ 郵便局による保管期間が過ぎ、岡山県教育庁教職員課へ戻ってきた結果通知については、結果通知日から3か月間保管するので、結果の受け取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3か月を過ぎたものについては廃棄する。
- ※ 完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合は、結果を簡易書留で送付する。
- ※ ホームページへの受験番号の掲載期間は、結果通知日から10日間とする。

10 選考結果の情報提供

時期	対象	内容
第1次試験の結果通知時	第2次試験の受験資格が得られなかった者	・受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階
第2次試験の結果通知時	第2次試験の受験者	・第1次試験で受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階 ・第2次試験で受験した全ての試験の評価段階

11 補欠

第2次試験の完全受験者で採用候補者とならなかった者のうち若干名を、補欠として決定し、採用候補者に欠員が生じた場合等には、補欠を採用候補者名簿に登録することがある。

補欠の決定の有無は、第2次試験の結果通知と併せて行い、補欠を採用候補者名簿に登録する場合には、対象者に個別に通知する。なお、補欠の有効期間は、令和6年3月31日までとする。

12 採用候補者の勤務校

- (1) 採用候補者名簿に登録され、採用された者は、岡山県内の市町村（組合）立（岡山市立を除く。）の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校、岡山県立の中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校のいずれかに勤務する。
- (2) 小学校教諭等の全出願区分（全ての枠及び全ての特別選考を含む。）に出願する場合は、電子申請の「初任地」欄に、岡山県内の26市町村（岡山市を除く。）のうち、自身が配置を希望する1市町村を入力することができる。配置に当たっては、可能な範囲で希望に沿うよう配慮する。ただし、希望の市町村とならない場合がある。なお、希望の有無及び選択する市町村は可否に影響しない。

(3) 中学校教諭等の全出願区分(全ての枠及び全ての特別選考を含む。)のうち、数学、理科、英語、保健体育に出願する場合は、電子申請の「小学校専科への配置可否」欄に、小学校の専科教員としての配置の可否を入力できる。可と入力し、第2次試験の結果、採用候補者となった者は、初任配置校が小学校となる場合がある。なお、配置可否の内容は可否に影響しない。

13 その他

- (1) 採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
 - (7) 令和6年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
 - (4) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
 - (9) 令和6年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合
 - (1) 大学院修学継続、若しくは教職大学院進学による採用延長 (13(4)(5)に示す。)を認められた者が、採用延長期間終了までに修学中の大学院(教職大学院)を修了しなかった場合
- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。
- (3) 採用候補者名簿の登録の有効期間は、令和7年3月31日までとする。
- (4) 令和6年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者で、大学院において修学中の者が、引き続き大学院での修学を希望する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各大学院の修業年限に合わせて、修了までの1年間又は2年間延長する。
- (5) 令和6年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、教職大学院へ進学する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各教職大学院の修業年限に合わせて、2年間又は3年間延長する。
- (6) 補欠として決定され、令和6年3月31日までに、採用候補者名簿に登録されなかった者は、令和6年4月1日から、岡山県の公立学校で常勤講師等として優先的に任用する。
- (7) 他の都道府県の公立学校教員で、本県への転入を希望する者も、この実施要項により受験するものとする (74[E2]参照)。
- (8) 身体等の事情により、受験に際して配慮を必要とする場合には、電子申請の該当項目にその旨を記入すること。
- (9) 第2次試験の受験資格を得た者は、最終卒業・修了(見込)学校の成績証明書を提出する。(提出先、提出期間等詳細については、第1次試験の結果通知とともに連絡する。)
- (10) 服装については、第1次試験、第2次試験とも、クールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。
- (11) 諸般の事情により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページで知らせる。

<表1>

対象	ワカガ英語検定	実用英語技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/S&W	
出願要件	小学校教諭等(英語枠)	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
	特別選考A①・D⑤	180以上	1級	1350以上	7.0以上	375以上	800	95以上	1845以上
加点	英語の資格による加点	160以上	準1級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
選考に当たって考慮する事項	小学校教諭等	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
	高等学校教諭等(数学・理科)	160以上	準1級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上

※TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで基準を満たすこと。

また、公開テストによるスコアのみを対象とする。

※有効期限がある認定書等は出願の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。

電子申請・書類作成上の参考

■ 電子申請入力上の参考

1 「最終学歴」の国立大学 教員養成課程について

参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部 弘前大学教育学部 岩手大学教育学部 宮城教育大学教育学部
 秋田大学教育文化学部(教育学部) 山形大学教育学部 福島大学教育学部 茨城大学教育学部 宇都宮大学教育学部
 群馬大学教育学部 埼玉大学教育学部 千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部
 横浜国立大学教育学部(教育人間科学部) 新潟大学教育学部(教育人間科学部) 上越教育大学学校教育学部
 富山大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類(教育学部) 福井大学教育学部(教育地域科学部)
 山梨大学教育学部(教育人間科学部) 信州大学教育学部 岐阜大学教育学部 静岡大学教育学部
 愛知教育大学教育学部 三重大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部
 兵庫教育大学学校教育学部 神戸大学教育学部 奈良教育大学教育学部 和歌山大学教育学部
 鳥取大学教育地域科学部(教育学部) 島根大学教育学部 岡山大学教育学部 広島大学教育学部(学校教育学部)
 山口大学教育学部 鳴門教育大学学校教育学部 徳島大学教育学部 香川大学教育学部 愛媛大学教育学部
 高知大学教育学部 福岡教育大学教育学部 佐賀大学教育学部(文化教育学部) 長崎大学教育学部
 熊本大学教育学部 大分大学教育学部(教育福祉科学部) 宮崎大学教育学部(教育文化学部) 鹿児島大学教育学部
 琉球大学教育学部